



2019年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月9日

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー
 コード番号 6255 URL <http://www.npcgroup.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 2019年1月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6240-1206

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第1四半期の連結業績(2018年9月1日～2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第1四半期	1,362	△13.1	152	△19.7	152	△18.3	149	△21.9
2018年8月期第1四半期	1,567	249.0	190	—	186	—	191	—

(注) 包括利益 2019年8月期第1四半期 152百万円 (△21.5%) 2018年8月期第1四半期 194百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第1四半期	6.78	—
2018年8月期第1四半期	8.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第1四半期	8,071	5,894	73.0
2018年8月期	8,059	5,785	71.8

(参考) 自己資本 2019年8月期第1四半期 5,894百万円 2018年8月期 5,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2019年8月期	—	—	—	—	—
2019年8月期(予想)	—	0.00	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,839	△46.1	△17	—	△46	—	△51	—	△2.35
通期	7,002	8.7	534	5.5	491	7.2	428	4.4	19.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年8月期1Q	22,052,426 株	2018年8月期	22,052,426 株
2019年8月期1Q	435 株	2018年8月期	435 株
2019年8月期1Q	22,051,991 株	2018年8月期1Q	22,051,991 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7
3. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、雇用環境や所得環境の改善が続く中で、景気は引き続き緩やかな回復傾向が継続しました。世界経済においては、米国と中国の通商問題の動向及び影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要があるものの、緩やかな回復傾向が継続しました。

当社グループが属する太陽電池業界におきましては、中国市場の減速が懸念されていましたが、米国やインドを中心として再生可能エネルギーの導入割合を設定する各種政策やESG投資を背景としたRE100加盟企業等の取り組みが後押しとなっており今後も堅調に設置がされる見込みです。現在の設置は米国や中国、インドなどが主要市場となっていますが、南米・中東等の新興国でもプロジェクト開発が見込まれています。国内では、年間の太陽電池設置量は縮小傾向にありますが、引き続きメガソーラー(大規模太陽光発電所)の建設が進んでいるほか、民間企業による自家消費発電の需要が拡大しています。また、太陽光発電設備の廃棄方法について経済産業省や環境省で引き続き活発な議論や検討が行われるなど、太陽光発電システムのメンテナンスや適切な廃棄処理に対する意識はさらに高まってきています。

このような状況下、装置関連事業におきましては、米国の主要顧客向けの太陽電池製造装置と部品販売が好調に推移したほか、自動化・省力化装置では主に自動車業界向けの案件を売上計上したことから、売上高は概ね見込みどおりとなりました。環境関連事業においては、太陽光発電所におけるパネル検査を順調に実施したほか、リユースパネルの販売も売上に貢献し、ほぼ見込みどおりとなりました。そのため、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,362百万円(前年同期比205百万円の減収)となりました。利益につきましては、装置関連事業では原価低減等や好調だった部品販売で売上総利益が向上したことや、環境関連事業では高利益率の当社独自の検査サービスが業績に貢献し、利益率が見込みよりも向上しました。前年同期比で減収でしたが、利益額は想定よりも上振れる結果となりました。このため、営業利益は152百万円(前年同期比37百万円の減益)、経常利益は152百万円(前年同期比34百万円の減益)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は149百万円(前年同期比41百万円の減益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①装置関連事業

装置関連事業においては、米国の主要顧客向けの太陽電池製造装置や自動化・省力化装置の売上計上により、売上高は1,289百万円(前年同期比210百万円の減収)となりました。営業利益につきましては266百万円(前年同期比35百万円の減益)となりました。

②環境関連事業

環境関連事業においては、太陽光発電所の検査サービスや、リユースパネル等の順調な売上計上により、売上高は73百万円(前年同期比5百万円の増収)となりました。営業利益につきましては4百万円(前年同期比4百万円の増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,905百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円の増加となりました。これは主として、仕掛品の増加251百万円、流動資産その他の増加46百万円があった一方で、現金及び預金の減少230百万円があったことによるものであります。固定資産は4,165百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円の減少となりました。これは主として、建物及び構築物の減少40百万円があったことによるものであります。

この結果、総資産は、8,071百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円の増加となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,102百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円の減少となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加146百万円があった一方で、未払法人税等の減少101百万円、前受金の減少123百万円があったことによるものであります。固定負債は74百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円の減少となりました。これは主として、リース債務の減少17百万円があったことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,177百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,894百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円の増加となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益149百万円の計上があった一方で、剰余金の配当44百万円があったことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期(2018年9月1日~2019年8月31日)第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、2018年10月9日に公表しております内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	900,042	669,982
受取手形及び売掛金	1,820,665	1,795,324
商品及び製品	15,318	15,318
仕掛品	791,856	1,043,527
原材料及び貯蔵品	151,715	147,068
その他	205,445	251,683
貸倒引当金	△33,292	△16,924
流動資産合計	3,851,750	3,905,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,821,771	3,821,771
減価償却累計額	△1,397,325	△1,437,593
減損損失累計額	△8,073	△8,073
建物及び構築物 (純額)	2,416,373	2,376,104
機械及び装置	759,439	759,439
減価償却累計額	△137,700	△140,125
減損損失累計額	△562,093	△562,093
機械及び装置 (純額)	59,645	57,220
土地	1,548,050	1,548,050
リース資産	763,520	763,520
減価償却累計額	△527,377	△527,377
減損損失累計額	△236,142	△236,142
リース資産 (純額)	-	-
その他	280,666	281,153
減価償却累計額	△234,300	△238,784
減損損失累計額	△4,514	△4,514
その他 (純額)	41,851	37,854
有形固定資産合計	4,065,919	4,019,229
無形固定資産		
その他	19,997	18,553
無形固定資産合計	19,997	18,553
投資その他の資産		
繰延税金資産	73,182	69,562
その他	48,222	58,254
投資その他の資産合計	121,405	127,817
固定資産合計	4,207,322	4,165,600
資産合計	8,059,073	8,071,581

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	874,748	1,021,013
リース債務	63,414	64,368
未払法人税等	111,004	9,984
前受金	921,447	797,679
賞与引当金	49,258	12,034
その他	163,439	197,258
流動負債合計	2,183,313	2,102,338
固定負債		
退職給付に係る負債	10,303	13,346
リース債務	79,558	61,653
固定負債合計	89,862	74,999
負債合計	2,273,175	2,177,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,812,461	2,812,461
資本剰余金	2,734,875	2,734,875
利益剰余金	209,402	314,826
自己株式	△431	△431
株主資本合計	5,756,307	5,861,732
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	29,589	32,511
その他の包括利益累計額合計	29,589	32,511
純資産合計	5,785,897	5,894,243
負債純資産合計	8,059,073	8,071,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2017年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)
売上高	1,567,729	1,362,565
売上原価	1,140,105	987,378
売上総利益	427,623	375,186
販売費及び一般管理費	237,456	222,415
営業利益	190,166	152,770
営業外収益		
受取利息	4	6
為替差益	99	890
業務受託料	390	390
違約金収入	1,401	-
償却債権取立益	549	-
助成金収入	-	570
その他	122	592
営業外収益合計	2,568	2,450
営業外費用		
支払利息	3,561	1,957
支払手数料	2,693	820
営業外費用合計	6,254	2,777
経常利益	186,480	152,443
特別利益		
受取補償金	28,420	-
特別利益合計	28,420	-
税金等調整前四半期純利益	214,900	152,443
法人税、住民税及び事業税	24,043	△740
法人税等調整額	△549	3,655
法人税等合計	23,494	2,914
四半期純利益	191,406	149,528
親会社株主に帰属する四半期純利益	191,406	149,528

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)
四半期純利益	191,406	149,528
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,897	2,921
その他の包括利益合計	2,897	2,921
四半期包括利益	194,303	152,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	194,303	152,450
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日) (千円)	前年同期比 (%)
装置関連事業	1,593,910	91.8
環境関連事業	110,075	160.1
合計	1,703,986	94.4

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
装置関連事業	908,793	42.2	4,613,369	89.5
環境関連事業	54,180	154.8	364,787	346.4
合計	962,973	44.0	4,978,156	94.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日) (千円)	前年同期比 (%)
装置関連事業	1,289,316	86.0
環境関連事業	73,248	107.5
合計	1,362,565	86.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。